



新 郡市医師会長 インタビュー

第 5 回 下関市医師会長 木下 毅 先生

と き 平成 28 年 8 月 22 日 (月)

ところ 下関市医師会

[聞き手：広報委員 石田 健]



石田委員 本日は平成 28 年 4 月 8 日の下関市医師会役員選挙において下関市医師会長に選任され、6 月 24 日に就任された木下 毅 先生にお話を伺いたと思います。ご多忙のところ、インタビューの時間をいただきまして誠にありがとうございます。

下関市医師会は一般社団法人に移行後、医師会館の移転などいろいろな問題が生じ、これら諸問題にどのように対応したら医師会員にとって何がベストかといった議論がここ数年盛んです。今回、会長を再度引き受けられたお気持ちをお聞かせ願えませんでしょうか。

木下会長 赤字が続く医師会会計や人口減少社会が進む中、下関市医師会の方向性を見直し、事業計画を根本的に組み替え、持続性のある地域の医師会としての存在価値を高めてゆくために再度引き受けようと思いました。

現在の事業計画・移転計画をすべて見なおそうと思います。

石田委員 お聞きしにくいことですが、差し支えなければ、県内で最大の郡市医師会である下関市医師会の財務状況についての現状と将来展望についてお話しただけませんか。

木下会長 平成 27 年末の正味財産は約 7 億円です。7 億円がすべて現金であるのではなく、いろいろな資産の合計なのですべてが使えるわけではありません。27 年度の赤字が約 6,300 万円です。10 年前頃の正味財産は 12 億円前後ありました。このままの状態が続けて行くと、数年で医師会の財産はゼロになってしまいます。早急に出血を止めるべきです。

石田委員 今後、下関市は人口の減少が避けられないと言われています。人口減少下での医師会のあり方についてのご意見をお願いします。

木下会長 人口の減少も大きく、2040 年には市の人口は現在の 27 万人から 20 万人に減ります。減少のほとんどは労働力のある若者です。医療・介護で働く人材確保が難しくなります。外来患者数も減少傾向にあります。医師会は会員と競合する事業はするべきでないと思っています。

石田委員 次に、看護学校の将来性についてのお考えを聞かせてください。

木下会長 平成 28 年の熊本地震の影響で看護学校の建物が危険な状態になり、当面は東亜大学

に緊急避難することが決まりました。9 年間使っていなかった建物なので掃除や空調整備に費用がかかりましたが、当分、東亜大学の建物で運営しようと思っています。下関看護専門学校の卒業生は市内定着率が高く、学校は地域医療を守る為に続けてゆきます。看護学校は医師会の収益事業となっていますが、29 年 4 月から公益事業にすべく手続きを始めました。

石田委員 これまでの経緯を踏まえ、いろいろなことを勘案して下関市医師会館の移転が本当に必要か、また、可能なのかどうかの難しい判断が必要になってくると思います。再びお聞きしにくい話ですが、どのようなお考えをお持ちか、お聞かせ願えませんでしょうか。

木下会長 一度白紙に戻して考えようと思います。移転するにしても規模は大幅に縮小する必要があります。下関市が夜間診療所をどう考えるかも相談しなければなりません。その上で下関市医師会の移転が本当に必要なかどうか考え直さなければなりません。

石田委員 夜間診療所の話が出ましたが、これからの下関市の救急医療体制に関して、4 大病院と医師会及び診療所との連携はどのような形がベストとお考えでしょうか。

木下会長 地域医療構想の結果にもよりますが、救急医療を含めて医療圏全体構想を纏めなければいけないでしょう。その中でそれぞれの役割分担が決まってきます。まとめるには少し時間がかかりそうです。

石田委員 下関市でも高齢化が進む中、入院、外来に加えて在宅医療の必要性が叫ばれています。そのための地域医療包括ケアシステムは必要と思われませんが、医師会と 4 大病院及び行政の役割についてどのようにお考えでしょうか。

木下会長 地域医療包括ケアシステムは 2025 年までに下関市が中心になって構築するものです。

医師会も全面的に協力しなければなりません。下関市の医師は勤務医も開業医も高齢化が進んでいます。若い医師を地域に呼び込むには魅力的な医療機関が必要です。4 病院が統合され 700 床位の病院ができると良いですが、なかなか難しそうです。大病院は急性期医療に限定するべきと思います。在宅医療推進は医師の高齢化などで難しいと思います。在宅医療が進まない限り慢性期病床の削減はできません。

石田委員 ありがとうございます。次に日医や県医師会への意見、要望はありませんでしょうか。

木下会長 地域の特性を生かした地域医療構想が進められるようにお互いに協力してゆけるように願っています。

石田委員 最後に先生のお好きな言葉とか、座右の銘などがありましたらお願いします。

木下会長 「真剣だと知恵が出る」「中途半端だと愚痴が出る」「いい加減だと言いつばかり」これは秋田のある会社の工場に掲げてある標語です。役員一同、愚痴や言い訳をしない様、真剣に取り組んでいきますので会員の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

石田委員 本日は貴重な時間をいただきまして、ありがとうございます。また、答えづらい質問にも対応していただき、ありがとうございました。今後も下関市医師会長として、地域の医療に貢献していただきたいと思います。

